

求められるサービスのあり方について

実際に利用している市民に話を伺いました
電車を普段利用していて、どのようなことを感じていますか？



新名 喜代恵 さん

もし今、電車が無くなったら、出勤が困難になります

数年前に比べると生徒数が激減しています。親御さんしてみれば、少しの時間と車があれば送り迎えし方が経済的と考えるのでしょね。バスになると座席数が少ないのでお年寄りが困るのではないのでしょうか。



一戸 孔太 さん

電車がないと自転車通学で一時間かかってしまいます

三沢駅から学校までは、片道380円で、1カ月では約1万円の交通費がかかります。この電車がもし無くなってしまおうと思うと、電車のありがたさを強く感じます。わたしにとっては大事な交通手段です。



山端 舞海 さん

電車は貴重な交通手段です

電車を行き帰りに使っています。使っていて不便と感じる点は、ドアが一番前と一番後ろしか開かないことです。朝はとくに座席がいっぱいになってしまいうので、座席数を増やして欲しいです。



升沢 江里 さん

電車の料金が少し高いです

わたしは定期券を使っているので高いとは認識してはいませんが、雨などときどき電車を使う友達を見ていると、料金が少し高いとのこと。座席をきれいにして欲しいです。

利用者を増やすためのアイデアとは!?

十和田観光鉄道活性化協議会で平成18年9月に実施した、「5県立高校の電車通学者250人へのアンケート調査の結果および18年10月に開催された、「マイルール意識を醸成するためには」をテーマとした県立高校のワークショップの意見をまとめ、求められるサービスのあり方について考えます。

■アンケート調査の結果

鉄道の利便性について、「非常に満足」、「やや満足」、「どちらともいえない」、「やや不満」、「非常に不満」の選択肢で調査したところ、半数を占める割合で「不満」と感じているようです。その中でも、運賃の高さに不満を感じる割合が82%、運行本数の少なさに不満を感じる割合が60%を占めています。

なお、250人のアンケート内で挙げられた「十和田観光電鉄の利用者を増やすためのアイデア」の上位3つの意見は次のとおりです。

- ・ 運賃を安くする
- ・ 運行回数を増やす
- ・ バスやJRとの時間を合わせる

■ワークショップでの意見のまとめ
意見には大きく分けて5種類あります。

- ▽電車について
 - ・ 車内にゴミ箱を設置して欲しい
- ▽イベントについて
 - ・ 季節ごとにイベントをする
 - ・ 周辺自治体のイベントに合わせて、車内外の装飾や宣伝をする
 - ・ 車掌体験をさせる
- ▽運賃や回数券について

■まとめ

- ・ 利用者の立場を考え、引き続き利用したいと思われるような魅力的で快適な車内空間やサービスを提供することにより、電車利用者の増加が期待できます。
- ・ また、電車を単に移動の手段としてとらえず、イベントの実施など電車に乗ること自体を目的とした利用促進策に取り組むことにより、通勤通学者だけでなく幅広い層からの利用が見込まれます。
- ・ 電車の利用者数を増やせるかどうかは、これから会社が企画するサービスにあると考えられます。